

# 特色ある学校づくりをめざして

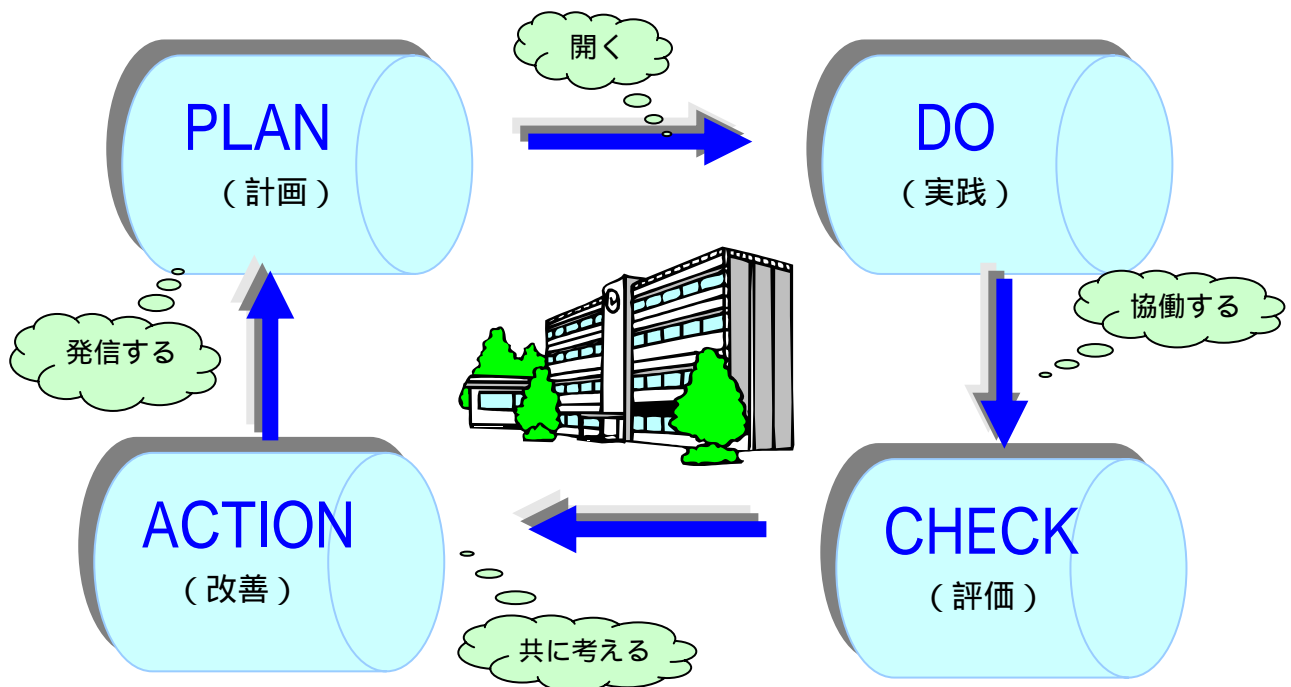
## 学校評価システムの確立に向けて

現在学校では、子どもたちや地域の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し保護者や地域住民から信頼される学校づくりがすすめられています。

本市におきましては、平成14年6月に川崎市学校評価システム検討会議を設置し、川崎市における学校評価システムの構築と運用をめざした研究をすすめてまいりました。

この度、これまでの研究を基に学校評価のすすめ方についてまとめましたので、各学校におかれましては、特色ある学校づくりのための学校評価に積極的に取り組んでいただきたいと思ひます。

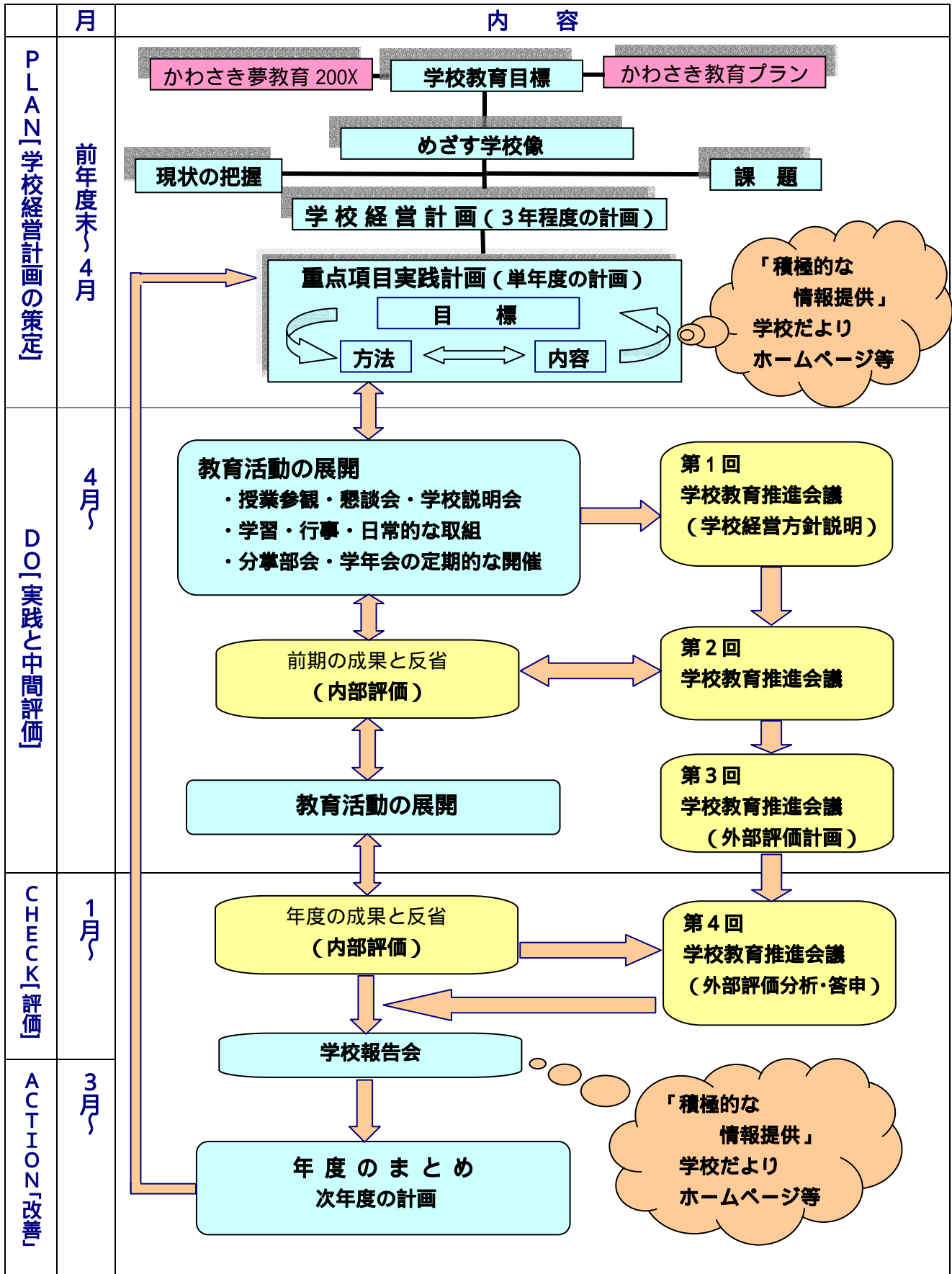
## よりよい学校づくりのためのシステム



2005年(平成17年) 1月

川崎市教育委員会

# 学校評価システムの流れ



## 学校評価の必要性

### 1 学校の主体性の確立

- ・校長がリーダーシップを発揮して、各学校や地域社会の状況等に応じて、特色ある学校づくりをすすめるために自主的・自律的な学校経営を行うことが求められています。

### 2 学校教育目標の達成

- ・学校の教育目標や育てたい子ども像を明確にし、客観的で検証可能な具体的目標の設定 目標へ向けての実践 評価 見直しという、次年度に向けての改善計画策定のサイクルを構築することが大切です。

### 3 説明責任（アカウンタビリティ）

- ・学校は年度当初に保護者や地域の人々に学校教育目標を説明するだけでなく、その目標の達成状況や結果について適宜説明し（何が達成されたか、何が達成されなかったか、達成されなかった場合その原因はどこにあるかなど）学校の経営責任を明確化し、学校教育活動の透明性を図ることが必要です。

### 4 特色ある学校づくりと開かれた学校づくりに向けて

- ・学校教育に対する社会的なニーズの多様化に対応して、一人一人の子どものよさや可能性を伸ばし、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育成するために、特色ある学校づくりが求められています。
- ・教育活動に関する情報を保護者や地域の人々に対して積極的に発信し、連携を深めることによって教育の質の向上・充実を図ることが必要です。

## 学校評価で学校が変わる

### 1 学校経営の継続性

- ・年度が変わり、校長や教職員が変わっても、前年度までの成果を生かして学校経営に取り組むことができます。

### 2 問題意識や達成感の共有

- ・計画の実践をとおして、教職員、児童生徒、保護者・地域の人々等の問題意識や達成感が共有されます。

### 3 学校教育への参画意識の高まり

- ・地域に根ざした学校づくりへの意識が高まります。
- ・地域に根ざした学校を創造するという意識が高まります。

## 川崎市における学校評価システムの確立に向けて

川崎市では、毎年『かわさき夢教育200X』を教育施策として示しており、各学校では、その共通認識の基に独自の学校教育目標を設定し、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

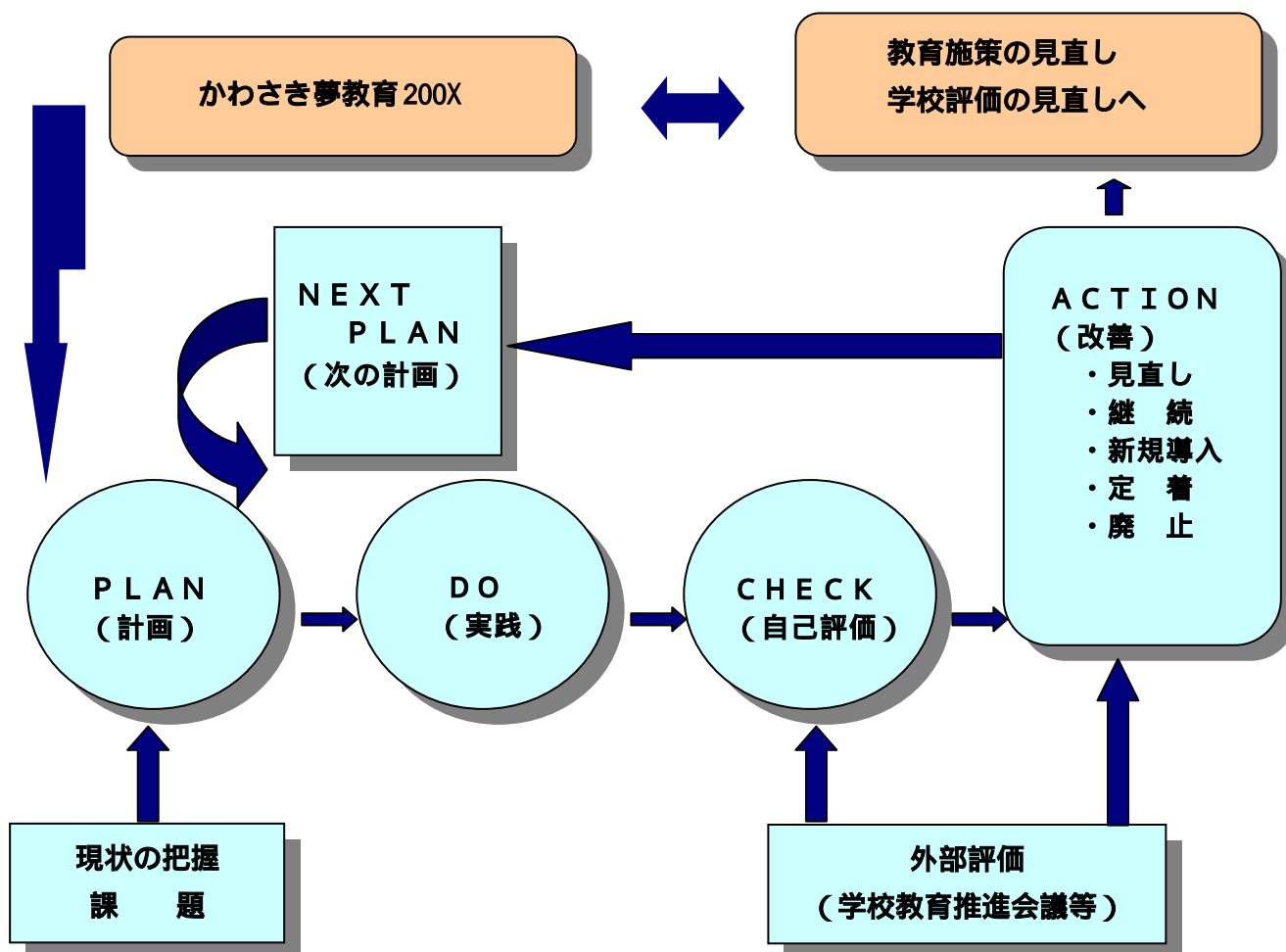
学校評価とは、学校の自己点検・自己評価、外部評価を基に、学校が教育活動や学校経営について主体的かつ継続的に改善を図る仕組みです。

学校においては、学校経営のあらゆる場面において、PLAN（計画） DO（実践） CHECK（評価） ACTION（改善）のマネジメントサイクルを実践し、また、その評価の客観性をいっそう高めるために、外部からの評価も重要となります。

さらにこのような取組の結果を公表することで、教職員、保護者・地域の人々等の間での意見の交流が活発となり、そのことが各学校の教育の質の向上につながります。

また、教育委員会においては、これらの評価結果を教育行政に反映させることや必要に応じて学校経営を支援していく役割を担います。

### 「川崎市における学校評価システムの流れ」



# 川崎市立 小学校 学校経営計画（例）

## 学校教育目標

教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領等

心豊かで、自ら学び、考え、主体的に  
判断し、行動できる子どもの育成

- やさしく 思いやりのある子
- かしこく 視野の広い子
- たくましく 自分を鍛える子

**かわさき夢教育 2004**  
・思いやりの心・感動する  
心の育成  
・わかる授業・個に応じた  
指導の充実  
・子どもを地域社会ととも  
に育成



### 子どもの願い

- ・わかりやすく、楽しい授業をしてほしい。
- ・自分らしさが発揮できる活動をしたい。

## 学校経営方針（3年間程度の計画）

- (1) 一人一人が輝く学校
- (2) 一人一人に確かな学力をつける学校
- (3) みんなが尊重しあう学校
- (4) わかる喜び、ふれあう楽しさを実感できる学校
- (5) 保護者や地域の人々から信頼される、開かれた学校

### 学校の願い

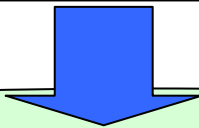
- ・信頼される「学びの場」としての学校
- ・子どもや地域の特性を生かした創造的な教育を推進する学校

### 保護者の願い

- ・子どもが伸び伸び活動できる学校

### 地域の願い

- ・地域に開かれた学校



## 本年度の重点目標（単年度の計画）

- (1) 豊かな心と健康な体の育成
  - 児童理解・児童指導の充実
  - いじめ・不登校のない学校づくり
  - 道徳教育の充実
  - 健康・安全教育の充実
  - 校舎内外の整備及び教室環境の整備、施設設備の充実
  - 豊かな体験活動・ボランティア活動等の推進
- (2) 基礎・基本の定着と確かな学力の育成
  - 自ら考える力の育成をめざした学習活動の創造
  - 教科・総合的な学習の時間の指導計画、評価規準の見直し
  - 少人数指導の充実
  - 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進
- (3) 地域に根ざした、開かれた特色ある学校づくり
  - 家庭・地域社会の教育力（学校教育支援ボランティア）活用の推進
  - 学校・学年・学級の教育計画、取組、成果等の情報公開
  - 学校教育推進会議の充実

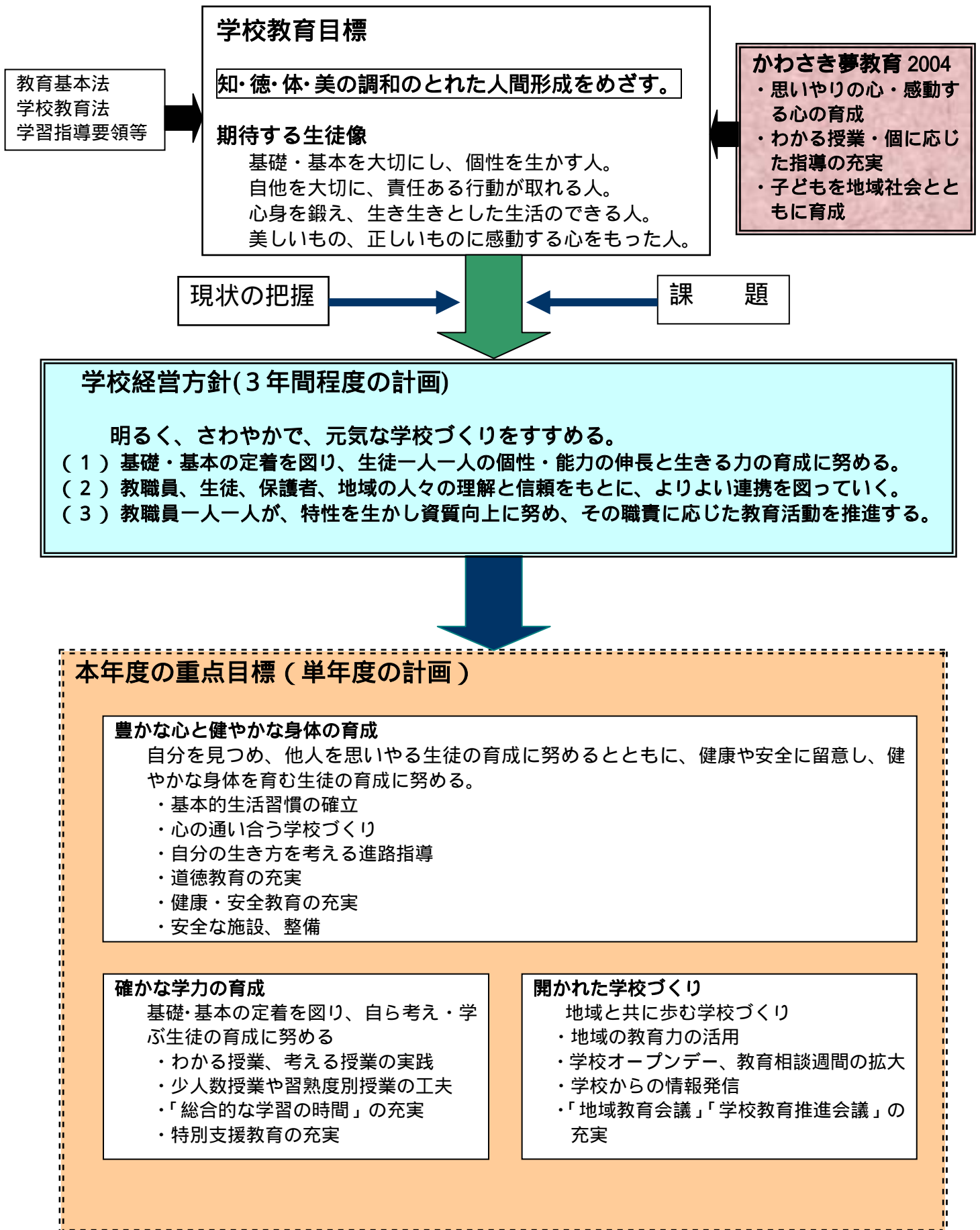
## 各学校で共通に評価する自己点検・自己評価シート（小学校の例）

かわさき 夢教育	学校経営方針		具体的な方策	評価の観点	判定
	本年度重点目標(単年度の計画)				
思いやりの心・感動する心の育成	豊かな心と健康な体の育成	児童理解・児童指導の充実	・子ども一人一人の状況を把握するために、子どものわずかな変化にも着目し、早期の対応を図る。	・子どもや保護者の家庭環境を十分に把握している。	A B C D
		いじめ・不登校のない学校づくり	・望ましい人間関係づくりのために、学級経営を基盤とした児童指導に努める。	・一人一人に応じた指導を行い、子ども同士の人間関係や変化を見逃さないようにしている。 ・不登校児をださないよう、欠席者や早退者の家庭に、その日の内に必ず電話などの手段で連絡を取り、個に応じた指導を行っている。	A B C D
		道徳教育の充実	・「道徳の時間」はもちろん各教科等で道徳教育の育成を図る。	・全ての学級が「道徳の時間」を、年間35時間以上確実に実施し、「心のノート」の活用を図りながら、子どもの道徳性の育成に努めている。	A B C D
		健康・安全教育の充実	・子どもの健康・安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止を図る。	・外部不審者侵入に対する未然防止策、並びに警察と連携した外部侵入者に対する研修会の実施。さらに、救急法や安全指導等の研修を全教職員が受講し、子どもの健康・安全に対する意識の向上に取り組んでいる。	A B C D
		校舎内外の整備及び教室環境の整備、施設設備の充実	・学校全体の環境整備に全職員で取り組む。 ・学習しやすい教室の環境づくりに努める。	・校舎内の巡回を頻繁に行い、校舎内の整備に日々取り組んでいる。 ・各担任、各教室の管理責任者を中心として、学習しやすい教室の環境づくりに取り組んでいる。	A B C D
		ボランティア活動等の推進	・体験活動を積極的に教育課程に位置づけ、子どもに豊かな人間性や感動する心の育成を図る。	・各学年の教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の様々な教育活動において体験学習を位置づけて実践をしている。	A B C D
わかる授業・個に応じた指導の充実	基礎・基本の定着と確かな学力の育成	自ら考える力の育成をめざした学習活動の創造。	・子どもたちが進んで課題を追究したり問題解決的な学習を取り入れたりする授業を積極的に推進し、授業改善を図る。	・子どもに対して思考力や判断力の向上をめざした問題等を作成し、その結果の推移を公表している。また、自ら考える力の向上に向けて、子ども自身の自己評価を実施し、その推移を公表している。	A B C D
		教科・総合的な学習の時間の指導計画及び評価規準の見直し。	・個に応じた指導の充実を図るために各教科・総合的な学習の時間の指導計画、評価規準の見直しを図る。	・各教科等の評価規準を各学年ごとに設定し、きちんと全教職員に周知している。 ・総合的な学習の時間の計画がしっかり立てられて実施されている。	A B C D
		少人数指導の充実。	・少人数指導を計画的に実施し、児童一人一人に応じた指導を行う。	・課題別や習熟度別等による少人数指導の充実を図り、児童一人一人に学習内容が定着するよう、指導法の研究を進めている。	A B C D
		児童一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進。	・特別な支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育を計画する。 ・個を大切にしたい指導の充実を努める。	・個別教育計画を一人一人の保護者や児童を交え緻密に作成し、指導の効果について保護者に理解を求め、よりきめ細かな教育実践に取り組んでいる。 ・子ども一人一人の個性を大切にしたい学級経営や教科指導を行い、それぞれについて成果をあげている。	A B C D
子どもを地域社会とともに育成	地域に根ざした、開かれた特色ある学校づくり	家庭・地域社会がもつ教育力活用の推進。	・夢教育21推進事業や自校の地域環境、地域人材の発掘を積極的に行い、創意工夫に富んだ教育課程の編成を図る。 ・学校教育活動支援事業（教育ボランティア）を十分に生かし、地域人材の活用を図る。	・夢教育21推進事業を計画的に実施し、保護者や地域の人々に、自校の特色ある教育活動の取組状況について意識調査等を実施し、学校経営の改善に生かしている。 ・地域の人材活用一覧表を定期的に改善をし、各学年の教育課程に生きる人材活用を計画的に実施している。	A B C D
		学校・学年・学級の教育計画、取組、成果等の情報公開。	・学校説明会、授業参観、保護者会、学校通信、学年便り、学校ホームページ等による様々な手段で学校の情報を発信し、保護者や地域の人々の学校教育への参画と理解を図る。	・学校の情報発信、保護者や地域社会からの情報受信を様々な手段を活用して実施している。さらに、保護者や地域の人々に開かれた学校づくりの状況について意識調査等を実施し、学校経営の改善に生かしている。	A B C D
		学校教育推進会議の充実	・子ども、保護者、地域社会の方々の学校に対する思いや願いを生かし、学校経営の改善や新たなプランの作成を図るようになる。	・学校経営計画を、作成・実施するに当たり、学校教育推進会議等を計画的に開催し、出された意見を学校プランに反映したり、学校経営の改善に生かしたりするなど積極的な校内体制を構築している。	A B C D

[ 判定の基準 ]

- A 満足できる
- B おおむね満足できる
- C どちらかといえば課題がある
- D 課題がある

# 川崎市立 中学校 学校経営計画（例）





各学校で共通に評価する自己点検・自己評価シート（中学校の例）

かわさき 夢教育	学校経営方針		具体的な方策	評価の観点	判定
	本年度重点目標(単年度の計画)				
思いやりの心・感動する心の育成	豊かな心・健やかな身体	基本的な生活習慣の確立	・学校生活の決まりや約束ごとについてきちんと守れるような状況をつくる。	・生徒一人一人とのコミュニケーションを大切にしており、授業の様子等についての情報交換を密にしている。 ・具体的な生活目標を設定し、生徒会活動を中心として守れるような活動を実施している。	A B C D
		心の通い合う学校づくり	・望ましい人間関係づくりのために、学級経営を基盤とした生徒指導に努める。	・生徒一人一人に応じた指導を行い、生徒同士の人間関係や変化を見逃さないような指導を行っている。 ・教育相談の機会を年に3回以上、また必要に応じて随時行っている。	A B C D
		自分の生き方を考える進路指導	・職業体験の充実を図るとともに各学年の発達段階に合わせた、進路指導を展開する。	・全ての学級が学年に応じた進路学習を実践し、生徒一人一人が自らの目標をもっている。 ・3年間で1回は職業体験学習を必ず行っている。	A B C D
		道徳教育の充実	・「道徳の時間」はもちろん日常生活の中で道徳教育の育成を図る。	・全ての学級が年間の「道徳の時間」35単位時間以上を確実に実施し、「心のノート」の活用を図りながら、子どもの道徳観の育成に努めている。	A B C D
		健康・安全教育の充実	・生徒の健康・安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止を図る。 ・緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める。	・防災・防犯計画を整備し、救急法や安全指導等の研修を実施し、全職員が救急法について理解を深めている。 ・緊急対応マニュアルを作成し、それに基づいて健康・安全教育の充実に努めている。	A B C D
		安全な施設、設備	・学校全体の環境整備に全職員で取り組む。 ・学習しやすい教室の環境づくりに努める。	・校舎内の巡回を頻繁に行い、校舎内の整備に日々取り組んでいる。 ・各担任、各教室の管理責任者を中心として、学習しやすい教室の環境づくりに取り組んでいる。	A B C D
わかる授業・個に応じた指導の充実	確かな学力の育成	わかる授業、考える授業の実践	・基礎・基本の充実を図るための授業改善を進める。 ・個に応じた学習方法の工夫、改善を行い、学ぶ楽しさやわかる喜びを持たせるよう努める。	・個に応じた指導法の工夫をして基礎・基本が身に付いている。 ・教科に関する授業研究会を、計画的に行う。	A B C D
		少人数授業の充実	・少人数指導を計画的に実施し、生徒一人一人に応じた指導を行う。	・少人数指導の方法について研究を進め、実施している英語、数学では生徒の学習に対する意欲が向上している。	A B C D
		「総合的な学習の時間」の充実	・育てたい力を明確にし、年間の計画をたて、テーマに基づいた授業の実践を行う。	・学校のテーマを設定し、各学年ごとに育てたい力を明確にした「総合的な学習の時間」の計画がしっかり立てられて実施されている。	A B C D
		特別支援教育の充実	・障害のある生徒一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育の実践に努める。	・一人一人の生徒と保護者との連絡を緻密にして個別教育計画を作成している。	A B C D
子どもを地域社会とともに育成	開かれた学校づくり	地域の教育力の活用	・夢教育21推進事業や自校の地域環境、地域人材の発掘を積極的に行い、創意工夫をふんだ教育課程の編成を図る。 ・学校教育活動支援事業（教育ボランティア）を十分に生かし、地域人材の活用を図る。	・夢教育21推進事業を計画的に実施し、保護者や地域の人々に自校の特色ある教育活動の取組状況について意識調査等を実施し学校経営の改善に生かしている。 ・地域の人材活用一覧表を定期的に改善をし、各学年の教育課程に生きる人材活用を計画的に実施している。	A B C D
		学校オープンデー、教育相談週間の拡大	・年間を通して学校をオープンにし積極的に学校の取組を公開するよう努める。 ・教育相談の機会を年間行事予定に位置づけ、担任だけではなく全職員で対応する体制をとっている。	・特に期間は設けず、いつでも授業を公開したり、学校の教育活動を公開したりしている。 ・教育相談の機会を年に3回以上、また必要に応じて随時行っている。	A B C D
		学校からの情報発信	・学校説明会、授業参観、保護者会、学校通信、学年便り、学校ホームページ等による様々な手段で学校の情報を発信し、保護者や地域の人々の学校教育への参画と理解を図る。	・学校の情報発信、保護者や地域社会からの情報受信を様々な手段を活用して実施している。さらに、保護者や地域の人々に開かれた学校づくりの状況について意識調査等を実施し、学校経営の改善に生かしている。	A B C D
		「地域教育会議」「学校教育推進会議」の充実	・子ども、保護者、地域社会の人々の学校に対する思いや願いを生かし、学校経営の改善や新たなプランの作成を図るようにする。	・学校経営計画を作成・実施するに当たり学校教育推進会議等を計画的に開催し、出された意見を学校経営に反映したり、学校経営の改善に生かす積極的な校内体制づくりを構築したりしている。	A B C D

[ 判定の基準 ]

- A 満足できる
- B おおむね満足できる
- C どちらかといえば課題がある
- D 課題がある